

1 本年度の重点

1. 個に応じた教育を推進し、確かな学力の定着をはかる。
2. キャリア教育を推進し、自ら意欲的に進路実現を目指す生徒の育成を図る。
3. 国際教育を推進し、国際性豊かな生徒の育成を図る。
4. 学習と部活動を両立させ、心身ともに調和のとれた生徒の育成を図る。

2 本年度の経営方針

1. 校内組織の連携強化を図り、円滑な学校運営に努める。
2. 魅力ある、信頼される学校づくりのため協働して学校運営に努める。
3. 進学型キャリア教育の充実・発展のため学校環境や条件整備に努める。
4. 生徒の「学ぶ力」を育成するため、主体的・対話的で深い学びの視点から授業の工夫に努める。
5. 家庭・地域への情報発信及び意見の収集を積極的に図り、学校と家庭・地域社会が一体となった生徒支援に努める。

3 自己評価結果

分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
全体	新川高校での高校生活は、全般的に満足できるものである。	A	学校生活に関し満足しているという回答が8割を超え、高い評価を得ているが、生徒、保護者の数値は漸減傾向にある。学校生活における生徒の充実感を一層高めるよう工夫していきたい。	A	A
	新川高校は、教育目標を日々の教育に生かしている	B	「開拓者たれ」という校訓は周知されているが、具体的な教育目標・方針については伝え方に工夫が必要であると考えている。明確な目標を提示し教育実践の質の向上にむけ努力していきたい。		
	目標を達成させるために、学校の特色を踏まえた教育課程を編成している。	D	高大連携を積極的に取り入れたフロンティアエリア制の実践も10年が経過し、「新しい教育」への転換が迫られている。目指す生徒像の明確化とそれを育む教育課程の編成を喫緊課題として取り組んでいきたい。		
学校関係者評価者による意見		<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学校の取り組みは評価できるが、これから求められる教育に対しより良い具体的な改善策を期待したい。 ・今後も生徒たちの社会人に向けての人間力、学力、部下力の向上を図っていただきたい。 ・学校の特色の前に生徒の特色を見極めていくことがより大事であると思います。 ・近年の入試倍率の高さの背景、要因に学校での取り組みの成果があげられ評価できる。 			
学習指導	授業は、生徒が理解できるよう工夫して実践している。	B	生徒からの評価は理解への工夫、内容の充実とも数値は昨年度との比較で減となっている。生徒の学習の中心となる授業に対する評価が低下しているということを真摯に受け止め更なる授業改善を目指し、教員の研修機会の充実、授業公開の工夫などを通して、授業力の向上を目指していきたい。	A	B
	授業は、内容が充実しており生徒は満足している。	B			
	生徒の家庭学習時間(予習・復習)は十分確保され、充実している。	D	昨年度に比し微増の状況にある。学習習慣の定着や主体的に学習に取り組む機会としての家庭学習の重要性を学校全体として共有し、多様な場面で生徒に理解させる機会をもち、また保護者の理解も得ながら、一層の充実が図れるよう取り組んでいきたい。		
学校関係者評価者による意見		<ul style="list-style-type: none"> ・授業の理解度に応じて丁寧なフォロー(補習等)が必要であると考えている。 ・家庭学習の重要性の認識度の更なるアップと学校以外での学習の習慣化を定着させる工夫をしてほしい ・授業の理解度、充実感が高いので、生徒の満足度は一定程度の水準にある。 ・卒業後の展望を方向づけた指導を個々人に与えることが重要と考えます。 			
生徒指導	全教職員が共通理解のもと生徒指導にあたっている。	C	数値が減っているが、本校の生徒指導のあり方について概ね全体の意思統一は図られているものと理解している。SNSやスマホ利用に関する共通理解に基づく取り組みを今後は充実させていく必要がある。	A	A
	生徒指導は、正しい礼儀や規律ある生活が送れるよう指導されている。	A	地域の方から寄せられる声も好意的なものが多く、生徒指導部を中心とした指導が生徒に定着していると考えられる。一方でSNSやスマホに起因する問題は漸増しており、規律ある生活を送るという視点からも大きな課題である。関係機関からの助言を得ながら指導を充実していきたい。		
	自転車マナー指導・登下校指導等、交通安全指導が適切に行われている。	A	生徒指導部を中心とした毎朝の声掛け指導が校内において理解、評価されている。並走や危険走行など地域から寄せられる指摘について真摯に受け止め、引き続きマナー指導に注力し、更なる安全指導の充実も図ってきたい。		
学校関係者評価者による意見		<ul style="list-style-type: none"> ・SNSやスマートホンに起因する問題への指導、対処の仕方を学校全体で取り組んで欲しい。 ・全校職員の生徒指導の在り方について意思統一が十分ではないという点が気になる。今後はもっと共通理解をもって取り組み、学校全体、学年ごとの情報共有を徹底して指導にあたっていただきたい。 			
評価基準 【自己評価】 A-十分達成されている B-ほぼ達成されている C-達成されているが課題もある D-課題が多い ※注 評価は総合評価の決定方法に準じ、1. そう思う 2.どちらかといえばそう思う の合計平均が A-85%以上 B-70%以上 C-50%以上 D-50%未満 三者(教職員・保護者・生徒) 教(教職員) 保(保護者) 生(生徒) による評価である。 【学校関係者評価】 A-適切である B-ほぼ適切である C-あまり適切でない D-不適切					

評価項目	自己評価		学校関係者評価		
	達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ	
進路指導	進路指導は生徒ひとり一人の目標達成に役立つように計画され、推進されている。	B	進路指導部を中心とした多様な進路希望に対応した取り組みが評価を得ている。新テストを含め新しい高大接続の在り方に対応した進路指導計画の立案とその推進に努めていきたい。	A	B
	適切なキャリア教育(望ましい職業観・就業観の育成)が計画的に実施された。	C	昨年度に比べ進路探究学習に係る時間が減少する中、十分な取り組みができていないという評価から微減となったと思われる。学年ごとの計画の充実とともに、3年間を見通した生徒のキャリア形成への取組の一層充実に向けて注力していきたい。		
	長期休業中や放課後に行っている講習は効果的なものである。	C	講習内容の工夫、指導方法の工夫を図ると同時に講習の意義、目的を明確にし、生徒への理解を促し、意欲を喚起するよう努力したい。		
学校関係者評価者による意見	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人一人に対応した進路指導の更なる工夫を期待したい。 ・今後も生徒一人一人に充実した進路指導を望む。 ・進路については3者1体となって明確な進路目標を早い段階から生徒が持てるよう指導の充実を図ってほしい。 				
特別活動	学校祭や球技大会等の生徒会行事は生徒にとって満足できるものである。	A	生徒会本部、関連する委員会の献身的な活動に支えられ、充実した学校行事の運営がなされている。生徒の意見の行事への反映など主体的活動を更に伸ばしていきたい。	A	A
	SHRやLHRは、有効に活用されている。	B	昨年度から数値はほぼ横ばいである。学校生活の拠点であるHRを充実させるために、連絡事項の伝達のみにならないよう生徒の主体的に活動を促す取り組みを一層進めていきたい。		
	部活動と学習を両立させている生徒が多い。	B	数値は微増しており、生徒自身の評価も高くなっている。部活動休養日の設定、各部ごとに計画される休養日を適切に活用し、学習と部活動のバランスのとれた学校生活の設計を生徒に促す指導を推し進めていきたい。		
学校関係者評価者による意見	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の自主性を伸ばすような支援を引き続き期待する。 ・特別活動は学校の特色があらわれるので、新川スタイルとして一層の進化に期待する。 				
健康安全	教育相談・スクールカウンセラーが充分機能している。	A	今年度もスクールカウンセラーによるカウンセリングと、それと連携した教育相談部の情報提供、啓発活動が円滑に機能していた。個人情報保護に配慮しつつ職員間の情報共有を進め、一層の教育相談活動の充実を努めたい。	A	A
	清掃活動や環境美化に力を入れている。	B	持続可能な社会の構築という視点も付加し、日常の清掃活動の充実と、生徒会を中心としたゴミ拾いボランティアなどの活動を継続し、勤労・奉仕的活動への意識を高め、公共心を育む指導を進めていきたい。		
	来校者や不審者に対する対応(セキュリティーチェック)が適切に行われている。	D	防犯カメラは設置済みだが、運用が円滑にできていない。外部からの侵入を防ぐ設備の予算化、校内の安全体制の見直しを優先課題として進めたい。		
学校関係者評価者による意見	<ul style="list-style-type: none"> ・何よりも学校は子どもを安心して預けられる場所であってほしいのでセキュリティーの強化は早急に必要。 ・生徒、職員が安心安全にスクールライフを送れるよう充実を図ってほしい。 				
開かれた学校	生徒・保護者への連絡や情報公開は適切に行われている。	B	一斉配信メール登録数も年々増えており、登録者には迅速に連絡を送信できる環境が整ってきている。今後も文書の配布と併用し、確実な情報伝達を行えるよう進めていきたい。	A	A
	学校のホームページを有効に活用している。	D	今年度も低い数値であった。CMSを4月より導入予定であり、今後は在校生や保護者向けの情報の発信回数の増、またコンテンツの充実を努めていきたい。		
	保護者からの電話対応や来校者に丁寧に対応している。	A	今年度も非常に高い評価となっており、職員に対し適切な電話対応、来客対応に関し一層の意識の向上を進めていきたい。		
	PTA活動は充実しており、積極的に活動している。	A	今年度も学校祭での模擬店出店、大学訪問、PTAセミナーと多彩な活動が多く保護者に認知されているものとする。総会、学年集会などへの参加も増えるよう日時の早めの連絡に一斉メールを活用するなど工夫していきたい。		
学校関係者評価者による意見	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな地震など災害時のスムーズな連絡のためにもHPの速やかな更新など環境の整備を進めてほしい。 ・地域の方々や保護者が毎日見たくなるホームページになるよう期待している。 ・災害時の情報伝達手段の整備とそれが実際に機能するよう努めていただきたい 				
国際理解	海外研修(アメリカ、シンガポール等)は学習意欲の向上にや国際理解に役立っている。	B	海外研修の意義は理解されていると考える。訪問国の選択、研修内容を更に工夫し、また参加者による報告会などの機会の設置を検討しより良い国際理解教育を模索していきたい。	A	B
	海外研修に参加してみたい(させたい)ですか。	C	費用対効果に優れた企画を提案できるよう関係機関と連携を図るとともに、海外研修への参加啓発活動の充実を努めたい。		
学校関係者評価者による意見	<ul style="list-style-type: none"> ・道内にながら外国語での実践的な会話を体験できるようなプログラムを独自に開発していくなど、対費用効果の高い新しい取り組みに期待したい。 ・海外留学の経験のある卒業生に学校で体験談を講演させるような企画があってもいいと思う。 				
<p>〔自己評価〕 A-十分達成されている B-ほぼ達成されている C-達成されているが課題もある D-課題が多い ※注 評価は総合評価の決定方法に準じ、1. そう思う 2どちらかといえばそう思う の合計平均が A-85%以上 B-70%以上 C-50%以上 D-50%未満 三者(教職員・保護者・生徒) 教(教職員) 保(保護者) 生(生徒) による評価である。 〔学校関係者評価〕 A-適切である B-ほぼ適切である C-あまり適切でない D-不適切</p>					